

目標達成計画

作成日: 令和 2年 3月 10日

目標達成計画は、自己評価及び外部評価結果をもとに職員一同で次のステップへ向けて取り組む目標について話し合います。
目標が一つも無かったり、逆に目標をたくさん掲げすぎて課題が焦点化できなくならないよう、事業所の現在のレベルに合わせた目標水準を考えながら、優先して取り組む具体的な計画を記入します。

| 【目標達成計画】 | | | | | |
|----------|------|---|---|--|------------|
| 優先順位 | 項目番号 | 現状における問題点、課題 | 目標 | 目標達成に向けた具体的な取り組み内容 | 目標達成に要する期間 |
| 1 | 4 | 法人としての身体拘束委員会はあるが、GHでの取り組み独自の取り組み（鈴、椅子等の音対策等）を議事録として、書面に残してはいない。また現実と理想のケアを現場の職員が認識出来ているか、再確認する必要がある。 | GHでの取り組みを身体拘束委員会として、推進会議議事録に一部記載する。現実と理想のケアを現場の職員が認識出来ているか定期的に確認する。 | 推進会議議事録に身体拘束委員会としての時間を設け、報告、意見を頂く。GHでは定期的な会議において、報告、確認し合い、現実と理想のケアを現場の職員に伝達し、認識出来ているか確認する。 | 6ヶ月 |
| 2 | | | | | ヶ月 |
| 3 | | | | | ヶ月 |
| 4 | | | | | ヶ月 |
| 5 | | | | | ヶ月 |

注) 項目の欄については、自己評価項目のNo.を記入して下さい。項目数が足りない場合は、行を挿入して下さい。